

令和 2 年度
医療費分析結果について

令和3年3月
磐田市国保年金課

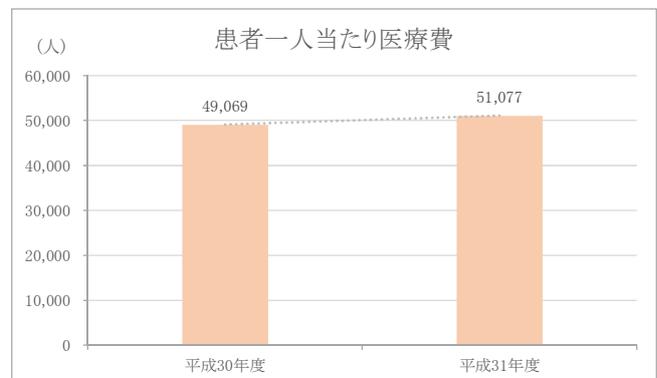
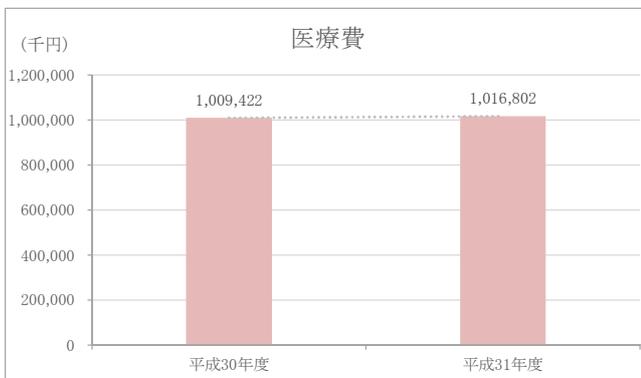
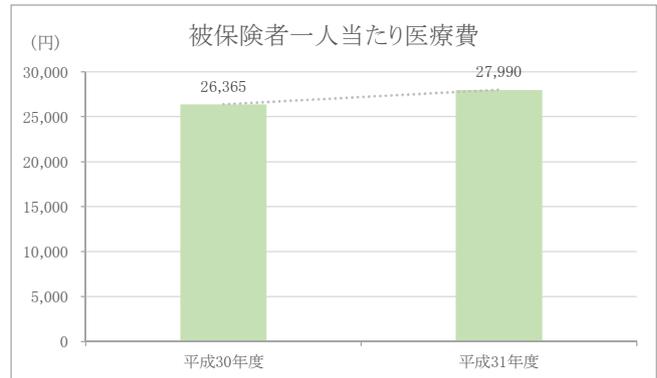
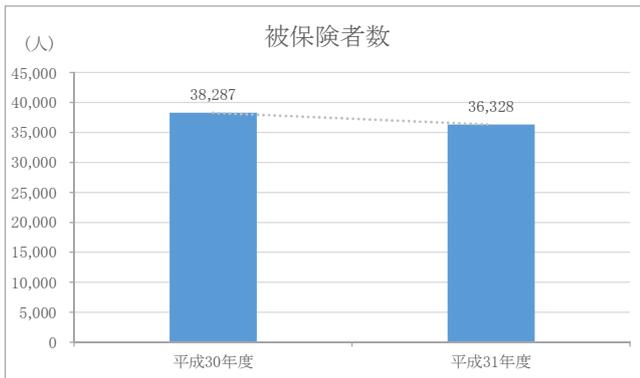
-目次-

第1章	医療費等の全体の統計	
	基礎統計	1
	高額レセプト	2～3
	中分類による医療費統計	4
	中分類による中学校区別医療費の平成31年度と平成30年度の比較	5～8
第2章	特定健診受診者と未受診者の医療費の比較	
	中学校区別特定健診受診者と未受診者の医療費	9～10
第3章	生活習慣病に係る統計と対策	
	生活習慣病に係る医療費等の状況	11～14
	糖尿病性腎症に係る医療費等の状況	15～17
	健康診査データによるCKD重症度分類	18
	健康診査データによる糖尿病診断	19
	生活習慣病治療中断者受診勧奨通知事業	20～21
第4章	ジェネリック医薬品に係る統計と対策	
	ジェネリック医薬品普及率	22
第5章	ロコモティブシンドロームに係る統計と対策	
	ロコモティブシンドローム対策事業	23～25

第1章 医療費等の全体の統計

基礎統計

		12カ月平均		12カ月合計		
		平成30年度	平成31年度	平成30年度	平成31年度	
A	被保険者数(人)	38,287	36,328			
B	レセプト件数(件)	入院外	29,400	28,652	352,794	343,818
		入院	643	642	7,712	7,706
		調剤	18,609	18,194	223,308	218,326
		合計	48,651	47,488	583,814	569,850
C	医療費(円)	1,009,422,425	1,016,802,165	12,113,069,100	12,201,625,980	
D	患者数(人)	20,572	19,907	246,858	238,885	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	26,365	27,990			
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,748	21,412			
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	49,069	51,077			
B/A	受診率(%)	127.1%	130.7%			
D/A	有病率(%)	53.7%	54.8%			



高額レセプト

		12カ月平均		12カ月合計	
		平成30年度	平成31年度	平成30年度	平成31年度
A	レセプト件数(件)	48,651	47,488	583,814	569,850
B	高額レセプト件数(件)	296	318	3,551	3,817
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%		
C	医療費(円) ※	1,009,422,425	1,016,802,165	12,113,069,100	12,201,625,980
D	高額レセプトの医療費(円) ※	308,282,707	332,916,892	3,699,392,480	3,995,002,700
E	その他レセプトの医療費(円) ※	701,139,718	683,885,273	8,413,676,620	8,206,623,280
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	30.5%	32.7%		

高額レセプト

■ 高額レセプトの要因となる疾病（患者数上位10）

平成30年度

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 (上位3疾病まで記載)	患者数 (人)	医療費(円)			患者一人当たり の医療費(円)
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 腎癌	179	364,342,750	288,556,400	652,899,150	3,647,481
2	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 狭心症	77	183,010,660	56,607,270	239,617,930	3,111,921
3	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎椎体骨折, 大腿骨転子部骨折	74	144,996,980	23,998,920	168,995,900	2,283,728
4	0205	気管, 気管支及び 肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺腺癌	69	147,960,030	177,838,490	325,798,520	4,721,718
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	67	128,090,930	279,685,990	407,776,920	6,086,223
6	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 心房細動	66	202,027,370	47,932,400	249,959,770	3,787,269
7	1113	その他の消化器系の疾患	臍径ヘルニア, 癒着性イレウス, 潰瘍性大腸炎	62	72,004,530	38,495,500	110,500,030	1,782,259
8	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	上行結腸癌, S状結腸癌, 横行結腸癌	53	93,275,410	71,230,320	164,505,730	3,103,882
9	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 胆石性急性胆のう炎, 総胆管結石性胆管炎	50	58,388,900	14,204,000	72,592,900	1,451,858
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 裂孔原性網膜剥離, 黄斑円孔	49	13,418,080	54,580,310	67,998,390	1,387,722
10	0906	脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, ラクナ梗塞	49	132,328,010	11,932,910	144,260,920	2,944,100

平成31年度

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 (上位3疾病まで記載)	患者数 (人)	医療費(円)			患者一人当たり の医療費(円)
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 卵巣癌	187	422,836,710	296,837,810	719,674,520	3,848,527
2	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 心房細動, 発作性心房細動	83	203,310,570	79,805,340	283,115,910	3,411,035
2	1113	その他の消化器系の疾患	クローン病, 癒着性イレウス, 絞扼性イレウス	83	106,541,480	44,437,300	150,978,780	1,819,021
4	0205	気管, 気管支及び 肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺腺癌	82	195,736,700	227,940,320	423,677,020	5,166,793
4	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 不安定狭心症	82	172,330,630	44,788,260	217,118,890	2,647,791
6	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	65	129,475,470	263,818,960	393,294,430	6,050,684
7	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 腰椎椎体骨折	64	171,313,300	16,639,000	187,952,300	2,936,755
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 黄斑円孔, 裂孔原性網膜剥離	55	25,742,790	36,930,400	62,673,190	1,139,513
8	0906	脳梗塞	脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞, ラクナ梗塞	55	164,286,300	14,659,840	178,946,140	3,253,566
10	0211	良性新生物<腫瘍>及び その他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 卵巣腫瘍, 壁内子宮平滑筋腫	54	86,341,910	24,953,100	111,295,010	2,061,019

生活習慣病関連 心疾患関連 癌関連

中分類による医療費統計

■ 中分類による医療費上位10疾病

平成30年度

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	1402 腎不全	793,921,625	6.6%	1,025	774,558
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	746,075,520	6.2%	3,963	188,260
3	0402 糖尿病	587,829,928	4.9%	10,818	54,338
4	0606 その他の神経系の疾患	532,579,524	4.4%	6,788	78,459
5	0901 高血圧性疾患	516,403,850	4.3%	11,659	44,292
6	0903 その他の心疾患	463,113,430	3.8%	6,332	73,139
7	1113 その他の消化器系の疾患	431,123,916	3.6%	9,561	45,092
8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	409,359,625	3.4%	1,177	347,799
9	0403 脂質異常症	388,385,594	3.2%	10,070	38,569
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	326,062,360	2.7%	9,816	33,217

平成31年度

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全 体に 対して占める割 合)	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	818,649,659	6.7%	3,999 (+36)	204,714 (+16,453)
2	1402 腎不全	763,037,421	6.3%	1,120 (+95)	681,283 (-93,274)
3	0402 糖尿病	595,083,187	4.9%	10,622 (-196)	56,024 (+1,686)
4	0901 高血圧性疾患	493,759,088	4.1%	11,514 (-145)	42,883 (-1,409)
5	0903 その他の心疾患	478,251,632	3.9%	6,223 (-109)	76,852 (+3,714)
6	0606 その他の神経系の疾患	473,036,473	3.9%	6,727 (-61)	70,319 (-8,140)
7	1113 その他の消化器系の疾患	467,088,665	3.8%	9,446 (-115)	49,448 (+4,356)
8	0403 脂質異常症	380,165,960	3.1%	10,023 (-47)	37,929 (-639)
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	376,465,159	3.1%	1,214 (+37)	310,103 (-37,696)
10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	368,383,796	3.0%	1,235 (-65)	298,286 (+72,068)

生活習慣病関連

中分類による中学校区別医療費の平成31年度と平成30年度の比較

中分類単位で中学校区ごとに集計し、医療費が高額な上位10疾病を年度ごとに示す。

城山中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	126,545,135	7.0%	580	218,181
2	腎不全	110,195,061	6.1%	169	652,042
3	糖尿病	91,034,430	5.0%	1,559	58,393
4	その他の消化器系の疾患	75,625,340	4.2%	1,452	52,084
5	その他の神経系の疾患	72,255,813	4.0%	1,022	70,700
6	高血圧性疾患	71,827,755	4.0%	1,675	42,882
7	脂質異常症	63,297,272	3.5%	1,525	41,506
8	その他の心疾患	59,337,348	3.3%	913	64,992
9	統合失調症	51,584,759	2.9%	193	267,279
10	虚血性心疾患	45,411,733	2.5%	556	81,676

城山中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	107,347,534	6.3%	137	783,559
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	101,681,837	6.0%	521	195,167
3	糖尿病	85,352,429	5.0%	1,535	55,604
4	高血圧性疾患	73,998,964	4.4%	1,647	44,930
5	その他の神経系の疾患	69,132,659	4.1%	1,005	68,789
6	脂質異常症	61,787,233	3.6%	1,464	42,204
7	統合失調症	61,179,956	3.6%	185	330,702
8	その他の消化器系の疾患	61,044,664	3.6%	1,432	42,629
9	その他の心疾患	55,621,652	3.3%	936	59,425
10	その他の眼及び付属器の疾患	46,294,265	2.7%	1,478	31,322

第一中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	89,103,368	6.5%	113	788,525
2	その他の神経系の疾患	75,430,198	5.5%	767	98,344
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	74,591,940	5.5%	135	552,533
4	その他の悪性新生物<腫瘍>	71,693,651	5.3%	415	172,756
5	糖尿病	68,276,120	5.0%	1,122	60,852
6	統合失調症	50,014,924	3.7%	148	337,939
7	高血圧性疾患	46,997,173	3.5%	1,198	39,230
8	その他の消化器系の疾患	46,500,965	3.4%	1,029	45,190
9	脂質異常症	39,053,332	2.9%	1,106	35,310
10	その他の心疾患	38,528,707	2.8%	597	64,537

第一中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	91,152,306	7.1%	101	902,498
2	その他の神経系の疾患	84,795,960	6.6%	768	110,411
3	その他の悪性新生物<腫瘍>	71,753,657	5.6%	399	179,834
4	糖尿病	62,860,487	4.9%	1,131	55,580
5	統合失調症	59,577,593	4.6%	143	416,627
6	高血圧性疾患	47,202,666	3.7%	1,207	39,107
7	脂質異常症	40,018,039	3.1%	1,065	37,576
8	その他の消化器系の疾患	39,563,394	3.1%	987	40,084
9	その他の眼及び付属器の疾患	36,454,798	2.8%	1,048	34,785
10	その他の心疾患	36,448,232	2.8%	578	63,059

神明中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	70,043,445	8.2%	100	700,434
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	58,656,891	6.9%	267	219,689
3	糖尿病	44,128,052	5.2%	747	59,074
4	その他の心疾患	39,868,174	4.7%	432	92,287
5	高血圧性疾患	38,427,904	4.5%	819	46,921
6	脂質異常症	34,744,639	4.1%	769	45,182
7	その他の消化器系の疾患	32,842,954	3.8%	682	48,157
8	その他の神経系の疾患	27,442,835	3.2%	469	58,514
9	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	26,938,531	3.2%	133	202,545
10	その他の眼及び付属器の疾患	18,147,482	2.1%	691	26,263

神明中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	66,013,426	7.9%	86	767,598
2	糖尿病	44,959,300	5.4%	765	58,770
3	その他の悪性新生物<腫瘍>	44,154,746	5.3%	281	157,134
4	高血圧性疾患	40,122,187	4.8%	850	47,203
5	脂質異常症	34,021,821	4.1%	787	43,230
6	その他の消化器系の疾患	31,626,811	3.8%	698	45,311
7	その他の神経系の疾患	28,159,974	3.4%	490	57,469
8	その他の眼及び付属器の疾患	26,590,963	3.2%	708	37,558
9	その他の心疾患	23,515,521	2.8%	450	52,257
10	虚血性心疾患	20,690,886	2.5%	228	90,750

向陽中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	552,269,706	6.7%	313	1,764,440
2	糖尿病	42,836,014	5.2%	802	53,411
3	高血圧性疾患	40,437,141	4.9%	854	47,350
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	36,448,781	4.4%	91	400,536
5	その他の心疾患	34,299,254	4.1%	449	76,390
6	その他の消化器系の疾患	32,363,109	3.9%	655	49,409
7	腎不全	30,050,200	3.6%	90	333,891
8	脂質異常症	28,278,471	3.4%	699	40,456
9	その他の神経系の疾患	24,467,384	3.0%	400	61,168
10	統合失調症	22,475,898	2.7%	64	351,186

向陽中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	52,666,601	6.6%	271	194,342
2	高血圧性疾患	41,420,060	5.2%	834	49,664
3	糖尿病	39,932,176	5.0%	776	51,459
4	腎不全	39,383,597	4.9%	81	486,217
5	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	39,204,674	4.9%	101	388,165
6	その他の心疾患	33,015,922	4.1%	416	79,365
7	その他の消化器系の疾患	32,668,073	4.1%	652	50,104
8	脂質異常症	28,820,015	3.6%	678	42,507
9	その他の神経系の疾患	28,235,753	3.5%	390	72,399
10	その他の眼及び付属器の疾患	23,657,343	3.0%	658	35,953

南部中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	94,285,665	7.1%	141	668,693
2	糖尿病	63,470,972	4.8%	1,154	55,001
3	その他の悪性新生物<腫瘍>	61,668,545	4.6%	447	137,961
4	その他の神経系の疾患	57,238,798	4.3%	738	77,559
5	高血圧性疾患	56,649,657	4.3%	1,329	42,626
6	その他の消化器系の疾患	51,129,804	3.8%	1,025	49,883
7	統合失調症	47,814,082	3.6%	142	336,719
8	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	45,053,329	3.4%	126	357,566
9	脂質異常症	40,086,749	3.0%	1,148	34,919
10	その他の心疾患	38,017,407	2.9%	623	61,023

南部中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	91,102,722	6.6%	136	669,873
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	82,083,320	5.9%	473	173,538
3	糖尿病	67,126,615	4.8%	1,185	56,647
4	高血圧性疾患	61,030,728	4.4%	1,353	45,108
5	その他の神経系の疾患	53,942,807	3.9%	735	73,392
6	統合失調症	48,452,682	3.5%	139	348,580
7	その他の消化器系の疾患	48,331,446	3.5%	1,058	45,682
8	その他の心疾患	45,254,429	3.3%	643	70,380
9	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	42,805,817	3.1%	124	345,208
10	脂質異常症	40,734,553	2.9%	1,092	37,303

福田中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	88,211,706	6.5%	115	767,058
2	その他の心疾患	73,411,566	5.4%	638	115,065
3	糖尿病	66,921,261	5.0%	1,115	60,019
4	貧血	60,375,212	4.5%	234	258,014
5	高血圧性疾患	59,064,273	4.4%	1,333	44,309
6	その他の悪性新生物<腫瘍>	48,546,515	3.6%	403	120,463
7	統合失調症	44,317,873	3.3%	132	335,741
8	その他の消化器系の疾患	40,858,149	3.0%	1,031	39,630
9	その他の神経系の疾患	39,047,016	2.9%	702	55,623
10	脂質異常症	37,486,163	2.8%	1,085	34,549

福田中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	106,643,932	8.7%	100	1,066,439
2	糖尿病	64,256,308	5.2%	1,127	57,015
3	高血圧性疾患	59,639,078	4.9%	1,321	45,147
4	統合失調症	51,742,442	4.2%	115	449,934
5	その他の心疾患	49,084,165	4.0%	601	81,671
6	その他の悪性新生物<腫瘍>	46,807,126	3.8%	358	130,746
7	その他の消化器系の疾患	42,044,197	3.4%	985	42,684
8	その他の神経系の疾患	37,931,899	3.1%	688	55,134
9	脂質異常症	37,473,842	3.1%	1,083	34,602
10	その他の眼及び付属器の疾患	32,390,693	2.6%	990	32,718

竜洋中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	108,670,885	7.3%	485	224,064
2	腎不全	108,279,091	7.2%	156	694,097
3	糖尿病	73,733,266	4.9%	1,278	57,694
4	その他の心疾患	68,233,310	4.6%	940	72,589
5	統合失調症	58,871,499	3.9%	158	372,604
6	高血圧性疾患	57,050,746	3.8%	1,459	39,103
7	その他の神経系の疾患	52,481,969	3.5%	848	61,889
8	その他の消化器系の疾患	50,816,074	3.4%	1,089	46,663
9	その他の眼及び付属器の疾患	43,194,471	2.9%	1,139	37,923
10	脂質異常症	41,074,288	2.7%	1,194	34,401

竜洋中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	98,967,413	6.9%	156	634,406
2	その他の心疾患	76,849,487	5.4%	908	84,636
3	糖尿病	69,826,492	4.9%	1,267	55,112
4	高血圧性疾患	59,495,940	4.1%	1,425	41,752
5	統合失調症	56,582,069	3.9%	144	392,931
6	その他の神経系の疾患	55,542,644	3.9%	809	68,656
7	その他の悪性新生物<腫瘍>	51,992,105	3.6%	459	113,273
8	その他の消化器系の疾患	46,236,148	3.2%	1,086	42,575
9	脂質異常症	42,895,528	3.0%	1,237	34,677
10	その他の眼及び付属器の疾患	42,417,344	3.0%	1,163	36,472

豊田中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	59,077,764	6.2%	330	179,024
2	腎不全	58,566,852	6.1%	86	681,010
3	その他の消化器系の疾患	45,606,007	4.8%	733	62,218
4	糖尿病	42,882,655	4.5%	802	53,470
5	高血圧性疾患	41,918,091	4.4%	914	45,862
6	その他の心疾患	38,347,538	4.0%	480	79,891
7	白血病	37,285,118	3.9%	9	4,142,791
6	その他の神経系の疾患	32,850,492	3.4%	563	58,349
9	脂質異常症	27,369,084	2.9%	726	37,698
10	その他の眼及び付属器の疾患	26,415,408	2.8%	825	32,019

豊田中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	50,211,671	6.0%	63	797,011
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	48,947,969	5.8%	325	150,609
3	糖尿病	46,510,891	5.5%	777	59,860
4	その他の消化器系の疾患	43,849,692	5.2%	721	60,818
5	高血圧性疾患	43,085,711	5.1%	916	47,037
6	その他の心疾患	35,684,674	4.3%	468	76,249
7	脂質異常症	28,878,650	3.4%	720	40,109
8	その他の眼及び付属器の疾患	27,867,445	3.3%	839	33,215
9	虚血性心疾患	27,786,964	3.3%	251	110,705
10	その他の神経系の疾患	25,688,840	3.1%	536	47,927

豊田南中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	168,369,300	13.1%	446	377,510
2	その他の神経系の疾患	65,704,375	5.1%	719	91,383
3	糖尿病	57,451,954	4.5%	1,140	50,396
4	その他の心疾患	52,273,296	4.1%	619	84,448
5	その他の消化器系の疾患	48,818,276	3.8%	961	50,799
6	腎不全	44,200,731	3.4%	81	545,688
7	高血圧性疾患	44,136,791	3.4%	1,140	38,716
8	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	40,989,098	3.2%	134	305,889
9	統合失調症	39,403,845	3.1%	128	307,843
10	脂質異常症	36,195,163	2.8%	1,019	35,520

豊田南中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	74,315,006	6.9%	463	160,508
2	その他の神経系の疾患	53,112,368	5.0%	710	74,806
3	糖尿病	52,572,422	4.9%	1,153	45,596
4	高血圧性疾患	46,422,886	4.3%	1,119	41,486
5	腎不全	44,338,411	4.1%	67	661,767
6	統合失調症	38,130,388	3.6%	119	320,423
7	脂質異常症	36,412,449	3.4%	1,038	35,079
8	その他の眼及び付属器の疾患	35,415,202	3.3%	1,125	31,480
9	その他の消化器系の疾患	34,903,466	3.3%	910	38,355
10	その他の心疾患	32,245,379	3.0%	635	50,780

豊岡中学校(31年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	70,101,302	8.2%	69	1,015,961
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	59,437,745	6.9%	308	192,980
3	糖尿病	43,735,736	5.1%	887	49,307
4	その他の消化器系の疾患	40,430,490	4.7%	751	53,836
5	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	37,572,904	4.4%	94	399,712
6	高血圧性疾患	36,741,609	4.3%	776	47,347
7	その他の心疾患	35,693,474	4.2%	525	67,988
8	脂質異常症	32,323,164	3.8%	743	43,504
9	その他の神経系の疾患	24,197,473	2.8%	471	51,375
10	統合失調症	21,669,148	2.5%	88	246,240

豊岡中学校(30年度)

順位	疾病分類	医療費(円)	構成比	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	腎不全	70,531,822	9.2%	60	1,175,530
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	47,359,250	6.2%	291	162,747
3	糖尿病	44,768,480	5.9%	886	50,529
4	高血圧性疾患	38,614,572	5.1%	773	49,954
5	脂質異常症	33,281,557	4.4%	729	45,654
6	その他の消化器系の疾患	32,208,528	4.2%	738	43,643
7	その他の心疾患	26,916,297	3.5%	529	50,881
8	虚血性心疾患	25,000,181	3.3%	249	100,402
9	その他の筋骨格及び結合組織の疾患	24,782,807	3.2%	326	76,021
10	その他の神経系の疾患	20,537,959	2.7%	451	45,539

第2章 特定健診受診者と未受診者の医療費の比較

中学校区別特定健診受診者と未受診者の医療費

(1) 中学校区別特定健診受診状況

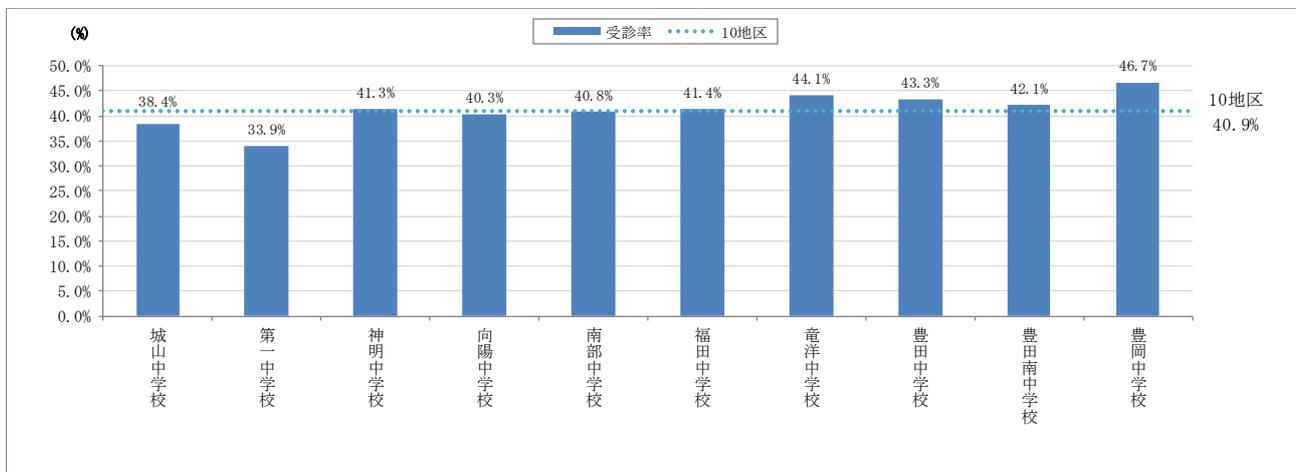
特定健診受診状況を中学校区別に以下に示す。10地区全体の受診率は40.9%で、10地区中4地区がこれを下回っている。

中学校区別 特定健診受診状況

自治会名	対象者(人)	受診者(人)	未受診者(人)	受診率(%)
城山中学校	4,251	1,631	2,620	38.4%
第一中学校	3,153	1,069	2,084	33.9%
神明中学校	2,081	860	1,221	41.3%
向陽中学校	2,022	814	1,208	40.3%
南部中学校	3,232	1,318	1,914	40.8%
福田中学校	3,163	1,309	1,854	41.4%
竜洋中学校	3,445	1,520	1,925	44.1%
豊田中学校	2,157	933	1,224	43.3%
豊田南中学校	2,845	1,198	1,647	42.1%
豊岡中学校	1,909	892	1,017	46.7%
合計	28,258	11,544	16,714	40.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和2年3月31日時点。

中学校区別 特定健診受診率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和2年3月31日時点。

(2) 中学校区別特定健診受診状況別の医療費

特定健診受診状況別の医療費を中学校区別に以下に示す。

①医療費

中学校区別 特定健診受診状況別 医療費(受診者)

自治会名	医療費(円)			患者数(人)			患者一人当たりの医療費(円)		
	全体	入院	入院外	全体(実人数)	入院	入院外	全体	入院	入院外
城山中学校	413,299,610	77,085,790	336,213,820	1,558	99	1,558	265,276	778,644	215,798
第一中学校	269,022,890	49,008,720	220,014,170	1,013	62	1,013	265,570	790,463	217,191
神明中学校	214,895,310	45,936,940	168,958,370	812	44	812	264,649	1,044,021	208,077
向陽中学校	253,408,880	53,010,680	200,398,200	774	57	774	327,402	930,012	258,912
南部中学校	340,314,910	95,255,940	245,058,970	1,250	90	1,250	272,252	1,058,399	196,047
福田中学校	334,676,080	80,372,890	254,303,190	1,246	82	1,246	268,600	980,157	204,096
竜洋中学校	399,055,420	93,107,160	305,948,260	1,432	84	1,432	278,670	1,108,419	213,651
豊田中学校	237,611,730	60,351,400	177,260,330	880	55	880	270,013	1,097,298	201,432
豊田南中学校	292,409,120	72,572,970	219,836,150	1,134	72	1,134	257,856	1,007,958	193,859
豊岡中学校	228,262,930	52,721,040	175,541,890	841	63	841	271,418	836,842	208,730
合計	2,982,956,880	679,423,530	2,303,533,350	10,940	708	10,940	272,665	959,638	210,561

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

中学校区別 特定健診受診状況別 医療費(未受診者)

自治会名	医療費(円)			患者数(人)			患者一人当たりの医療費(円)		
	全体	入院	入院外	全体(実人数)	入院	入院外	全体	入院	入院外
城山中学校	1,026,899,110	407,299,640	619,599,470	2,060	226	2,050	498,495	1,802,211	302,244
第一中学校	895,241,090	399,566,080	495,675,010	1,605	219	1,591	557,783	1,824,503	311,549
神明中学校	482,540,650	186,537,810	296,002,840	946	103	935	510,085	1,811,047	316,581
向陽中学校	444,720,090	173,890,570	270,829,520	960	101	956	463,250	1,721,689	283,294
南部中学校	787,721,650	306,632,620	481,089,030	1,512	184	1,502	520,980	1,666,482	320,299
福田中学校	790,095,370	321,124,060	468,971,310	1,440	173	1,429	548,677	1,856,208	328,181
竜洋中学校	840,895,230	359,435,330	481,459,900	1,510	198	1,494	556,884	1,815,330	322,262
豊田中学校	519,974,590	214,883,450	305,091,140	979	129	971	531,128	1,665,763	314,203
豊田南中学校	737,095,560	335,432,300	401,663,260	1,305	165	1,290	564,824	2,032,923	311,367
豊岡中学校	516,288,220	221,263,520	295,024,700	815	131	809	633,482	1,689,035	364,678
合計	7,041,471,560	2,926,065,380	4,115,406,180	13,132	1,629	13,027	536,207	1,796,234	315,914

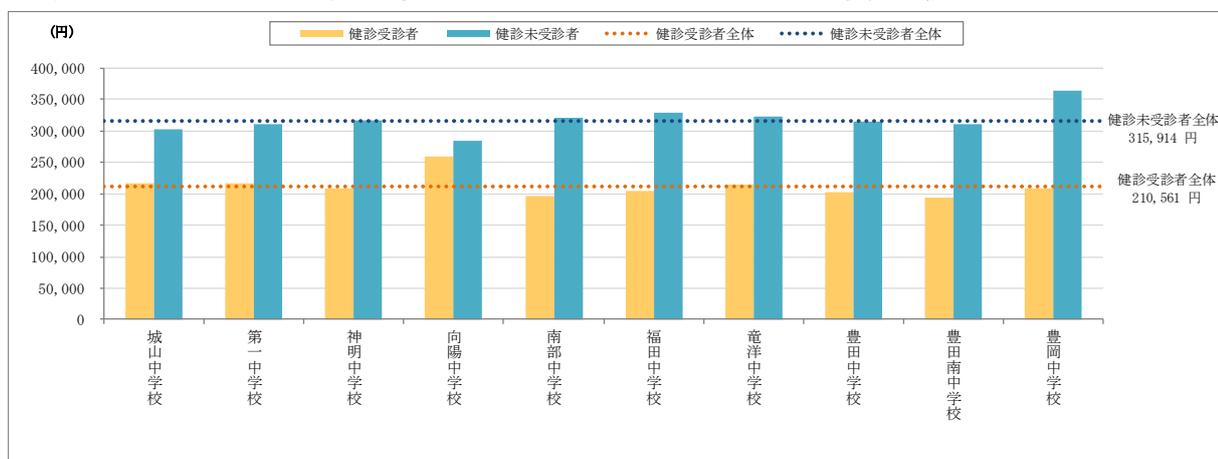
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

中学校区別 特定健診受診状況別 患者一人当たりの医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

第3章 生活習慣病に係る統計と対策

生活習慣病に係る医療費等の状況

(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計した結果を示す。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に係る重症化疾患を生活習慣病とし集計した。生活習慣病の医療費は28億3,851万円で医療費全体に占める割合は23.3%である。

生活習慣病と生活習慣病以外の医療費

	入院(円)	構成比(%)	入院外(円)	構成比(%)	合計(円)	構成比(%)
生活習慣病	599,151,594	12.9%	2,239,362,346	29.7%	2,838,513,940	23.3%
生活習慣病以外	4,047,074,916	87.1%	5,289,759,404	70.3%	9,336,834,320	76.7%
合計(円)	4,646,226,510		7,529,121,750		12,175,348,260	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

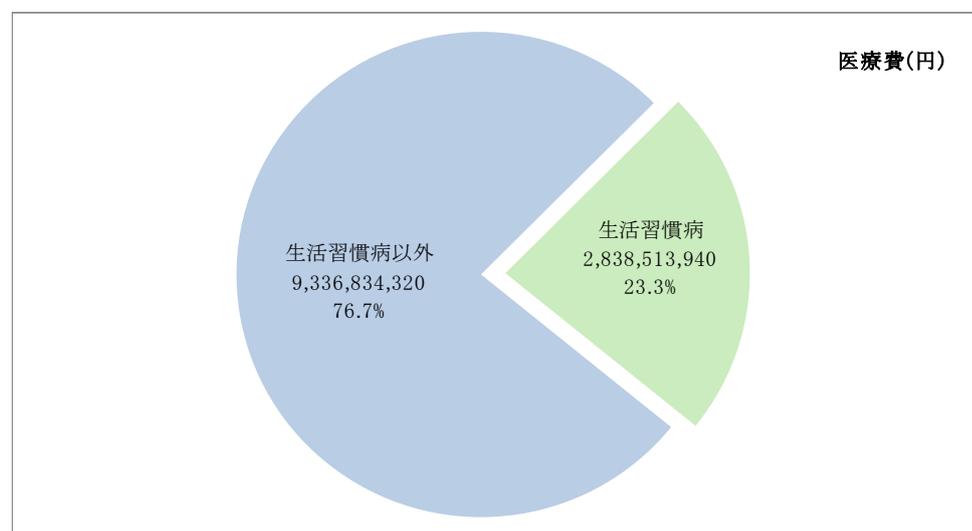
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、

0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

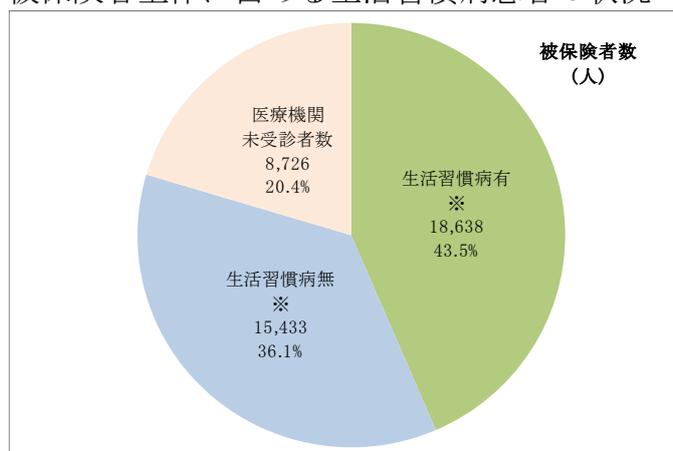
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、

0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

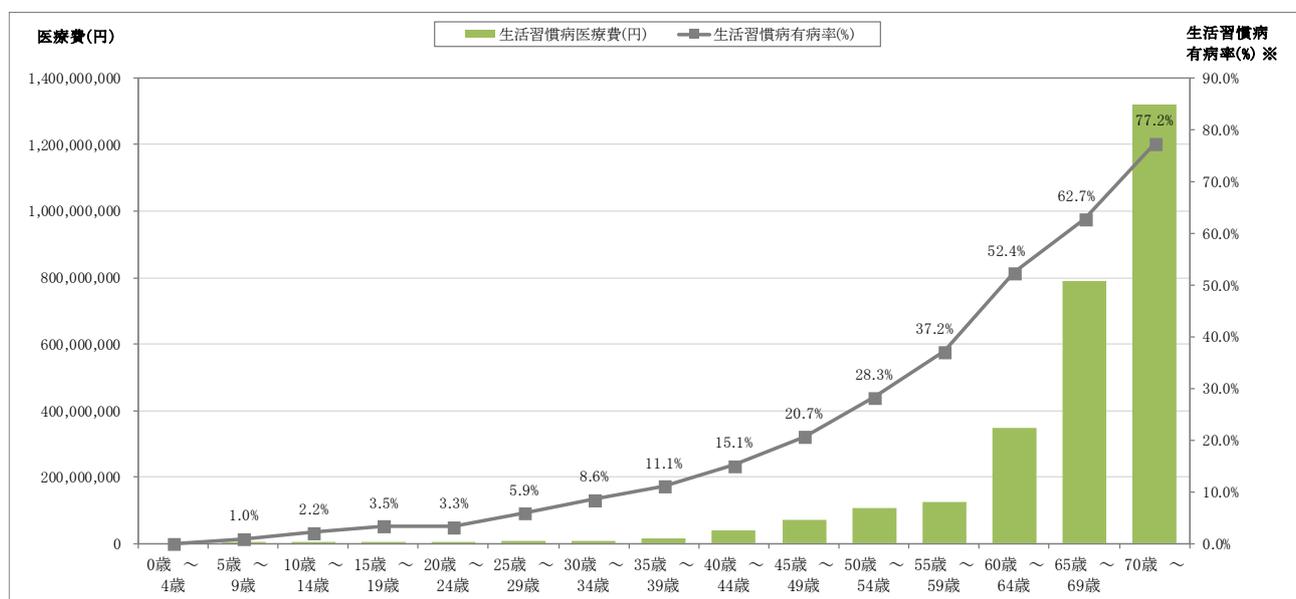
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、

0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階層別の生活習慣病医療費と有病率を以下に示す。年齢階層が上がるにつれて患者数が増え医療費が増大する傾向にある。

年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、

0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

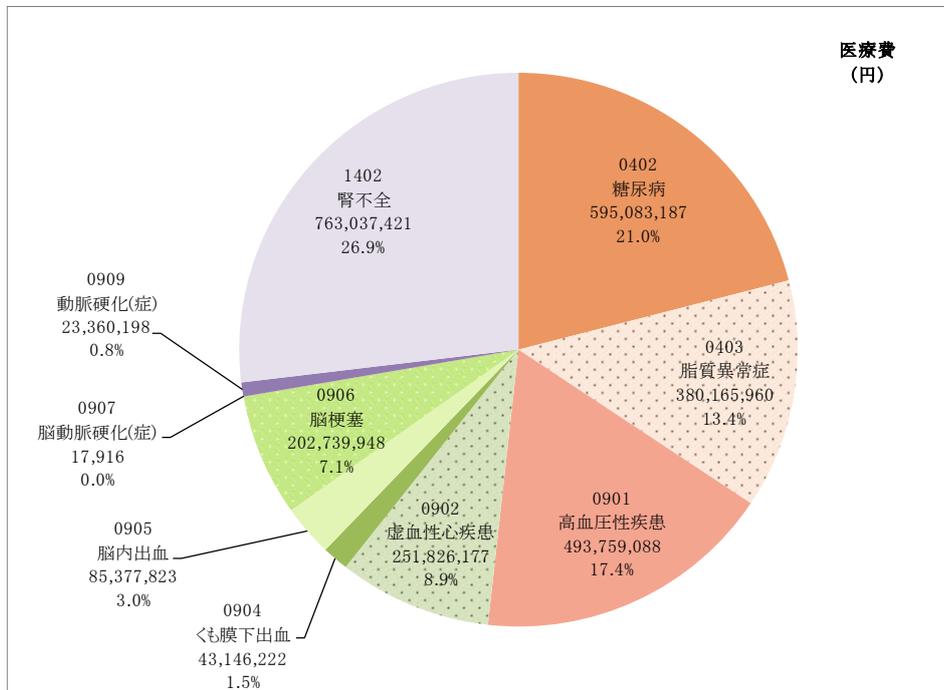
(2) 生活習慣病疾病別医療費等の状況

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率は以下の通りである。

生活習慣病疾病別 医療費統計

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	595,083,187	21.0%	2	10,622	24.8%	2	56,024	6
0403 脂質異常症	380,165,960	13.4%	4	10,023	23.4%	3	37,929	8
0901 高血圧性疾患	493,759,088	17.4%	3	11,514	26.9%	1	42,883	7
0902 虚血性心疾患	251,826,177	8.9%	5	3,450	8.1%	4	72,993	5
0904 くも膜下出血	43,146,222	1.5%	8	89	0.2%	9	484,789	2
0905 脳内出血	85,377,823	3.0%	7	429	1.0%	8	199,016	3
0906 脳梗塞	202,739,948	7.1%	6	2,062	4.8%	5	98,322	4
0907 脳動脈硬化(症)	17,916	0.0%	10	5	0.0%	10	3,583	10
0909 動脈硬化(症)	23,360,198	0.8%	9	1,639	3.8%	6	14,253	9
1402 腎不全	763,037,421	26.9%	1	1,120	2.6%	7	681,283	1
合計	2,838,513,940			18,638	43.5%		152,297	

生活習慣病疾病別 医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

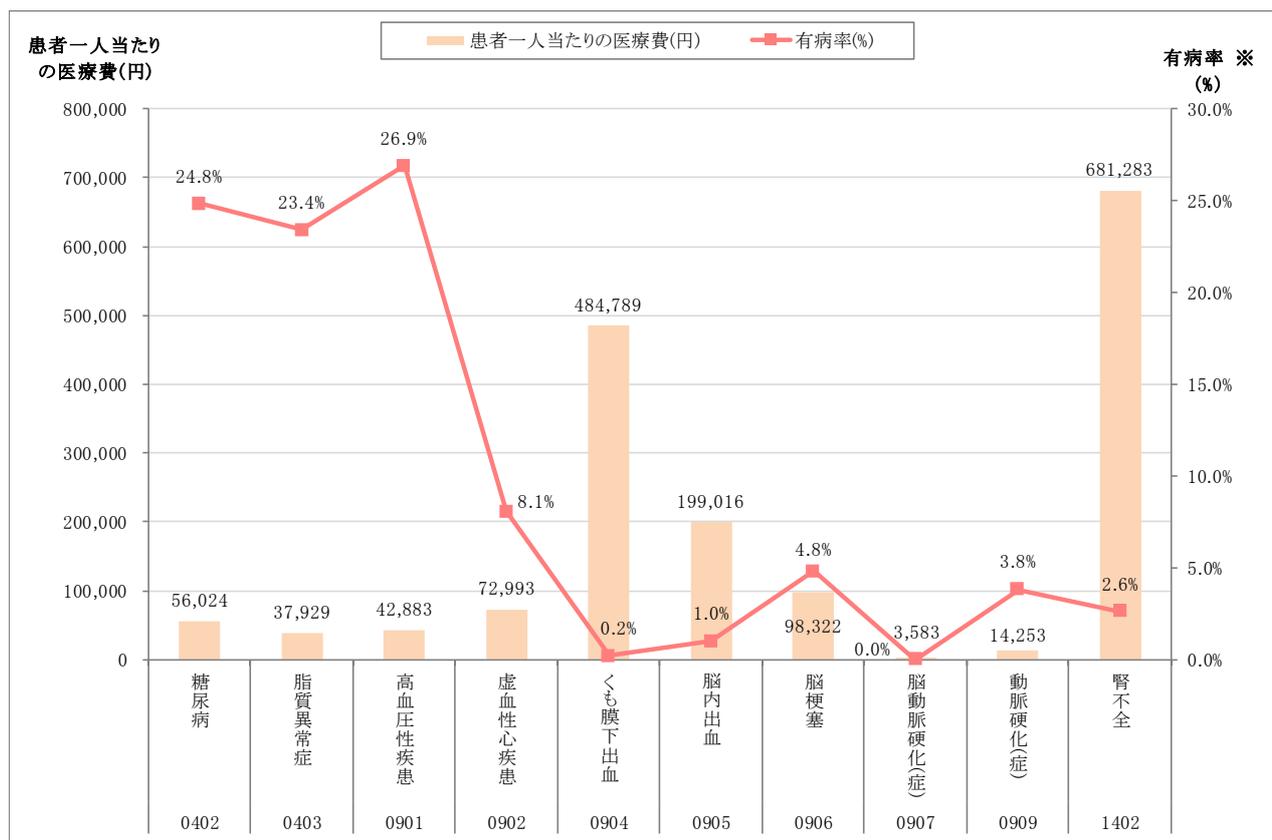
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病疾病別 患者一人当たりの医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

糖尿病性腎症に係る医療費等の状況

人工透析患者の実態

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、57.9%が生活習慣を起因とするものであり、その57.3%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	170
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	1
透析患者合計	171

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

人工透析に至った起因を、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のレセプトに記載されている傷病名から判定した。但し、レセプトに「腎不全」や「慢性腎不全」のみの記載しかない場合は、起因が特定できない患者となる。

人工透析患者171人のうち、生活習慣を起因とする疾病から人工透析に至ったと考えられる患者は99人である。

透析患者の起因

透析に至った起因	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	生活習慣を 起因とする疾病	食事療法等指導することで 重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	1	0.6%	-	-
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	98	57.3%	●	●
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	2	1.2%	-	-
④ 糸球体腎炎 その他	18	10.5%	-	●
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	1	0.6%	●	●
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-
⑦ 痛風腎	0	0.0%	●	●
⑧ 起因が特定できない患者 ※	51	29.8%	-	-
透析患者合計	171			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

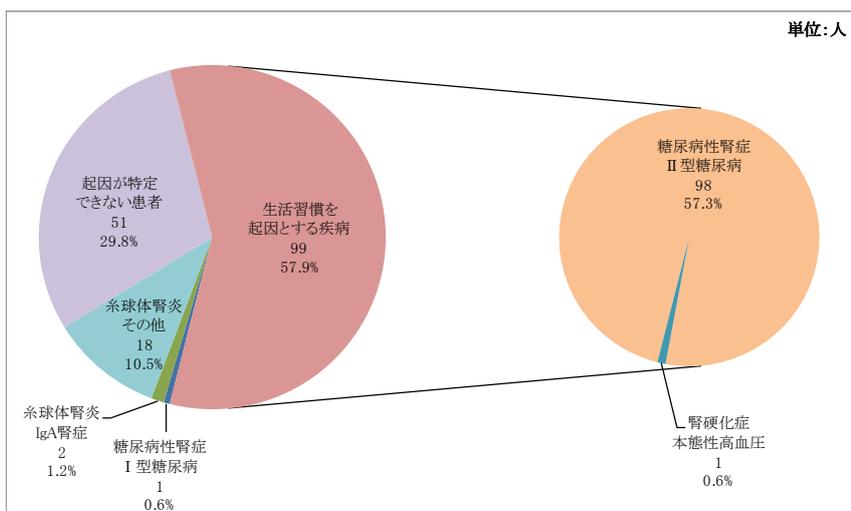
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

⑧起因が特定できない患者51人のうち高血圧症が確認できる患者は45人、高血圧性心疾患が確認できる患者は0人、痛風が確認できる患者は0人。高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は6人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、人工透析患者171人を対象に、以下の通り医療費を分析した。平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)での患者一人当たりの医療費平均は554万円程度、このうち透析関連の医療費が519万円程度、透析関連以外の医療費が35万円程度である。

透析患者の医療費

透析患者の起因	透析患者数 (人)	割合 (%)	医療費(円)			医療費(円) 【一人当たり】			医療費(円) 【一人当たりひと月当たり】		
			透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	1	0.6%	5,629,740	47,740	5,677,480	5,629,740	47,740	5,677,480	469,145	3,978	473,123
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	98	57.3%	524,300,940	37,962,790	562,263,730	5,350,010	387,375	5,737,385	445,834	32,281	478,115
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	2	1.2%	9,789,380	1,021,320	10,810,700	4,894,690	510,660	5,405,350	407,891	42,555	450,446
④ 糸球体腎炎 その他	18	10.5%	82,367,850	10,183,480	92,551,330	4,575,992	565,749	5,141,741	381,333	47,146	428,478
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	1	0.6%	5,133,590	25,170	5,158,760	5,133,590	25,170	5,158,760	427,799	2,098	429,897
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦ 痛風腎	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧ 起因が特定できない患者 ※	51	29.8%	259,529,590	11,428,060	270,957,650	5,088,815	224,080	5,312,895	424,068	18,673	442,741
透析患者全体	171		886,751,090	60,668,560	947,419,650						
患者一人当たり 医療費平均			5,185,679	354,787	5,540,466						
患者一人当たりひと月当たり 医療費平均			432,140	29,566	461,705						

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

生活習慣を起因とする糖尿病患者に対し、腎症の悪化を遅延させるため、早期に保健指導を行い生活習慣の改善を目指す。

健康診査データによるCKD重症度分類

健康診査項目の「尿蛋白」及び「クレアチニン」から算出したeGFR値を用いて、以下の通り「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018」の基準に基づき健診受診者を分類した。末期腎不全・心血管死亡発症リスクの上昇に合わせてステージ分けを行い該当するステージの健診受診者数を示す。

健康診査項目からステージに該当する人数(尿蛋白×クレアチニン)

健診受診者数:人

				尿蛋白区分					計	
				A1	A2	A3				未測定
				(-)	(±)	(1+)	(2+)	(3+)		
GFR区分 (mL/分/ 1.73m ²)	G1	正常または 高値	≥ 90	520	34	15	7	1	0	577
	G2	正常または 軽度低下	60 ~ 89	6,792	568	183	36	3	0	7,582
	G3a	軽度～ 中等度低下	45 ~ 59	2,520	222	88	35	8	1	2,874
	G3b	中等度～ 高度低下	30 ~ 44	200	27	21	12	6	2	268
	G4	高度低下	15 ~ 29	11	4	3	6	2	0	26
	G5	末期腎不全	< 15	1	2	3	2	0	1	9
	未測定			36	1	1	0	0	0	38
計				10,080	858	314	98	20	4	11,374

IV		=231人	2.0%
III		=667人	5.9%
II		=3,122人	27.4%
I		=7,312人	64.3%
不明		=42人	0.4%

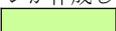
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

参考資料:一般社団法人 日本腎臓学会「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018」第1章 CKDの診断と意義 表1 CGA分類

株式会社東京医学社 ISBN:978-4-88563-293-8

※上記資料を用いて、株式会社データホライズンが作成した。

死亡・末期腎不全・心血管死亡発症のリスクを  を基準に    の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

健康診査データによる糖尿病診断

健康診査項目の「空腹時血糖」及び「HbA1c」の値を用いて、以下の通り日本糖尿病学会の判定区分に基づき色分けした。

健康診査項目からステージに該当する人数 (HbA1c×空腹時血糖)

健診受診者数:人

		HbA1c (NGSP) (ヘモグロビンA1c)					計	
		正常				糖尿病型		未測定
		～ 5.5%	5.6% ～	6.0% ～	6.5% ～			
空腹時血糖	正常	～ 99mg/dl	3,335	2,798	737	84	24	6,978
	正常高値	100mg/dl ～	440	921	640	125	6	2,132
	空腹時血糖異常	110mg/dl ～	97	260	451	333	4	1,145
	糖尿病型	126mg/dl ～	8	29	121	591	5	754
	未測定		145	105	50	60	5	365
計			4,025	4,113	1,999	1,193	44	11,374

糖尿病		=591人	5.2%
糖尿病型		=700人	6.2%
境界型		=808人	7.1%
正常型		=8,871人	78.0%
不明		=404人	3.6%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

参考資料:一般社団法人 日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン2019」

株式会社南江堂 ISBN:978-4-524-24148-4

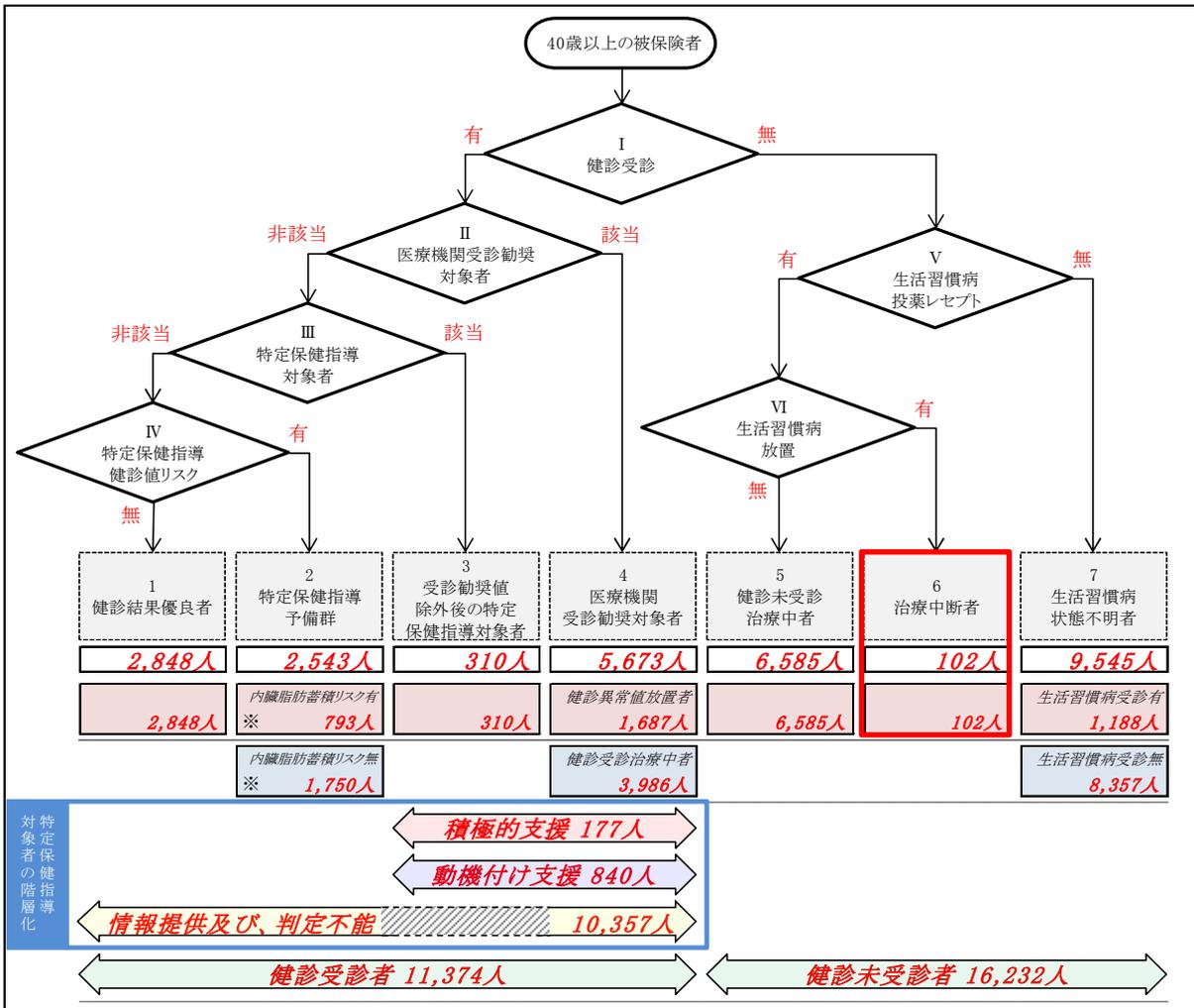
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「受診勧奨対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「受診勧奨実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 受診勧奨対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和2年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 生活習慣病治療中断者集団の特定

前項の分析において治療中断が発生している患者157人が対象となる。かつて生活習慣病で治療を行っていたにもかかわらず、現在医療機関への受診を行っていないため、将来、生活習慣病が重篤化する恐れが強い。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	102 人
	上記以外のグループ	55 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		157 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は健康診査受診の有無にかかわらず発生する。前項では、最初の分岐で健康診査の受診の有無を見ているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診者のみ格納される。事業を実施するためには健康診査受診者の治療中断者も併せて事業を実施する必要があるため、ここで健康診査受診者における治療中断者の人数を特定している。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	4 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		153 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

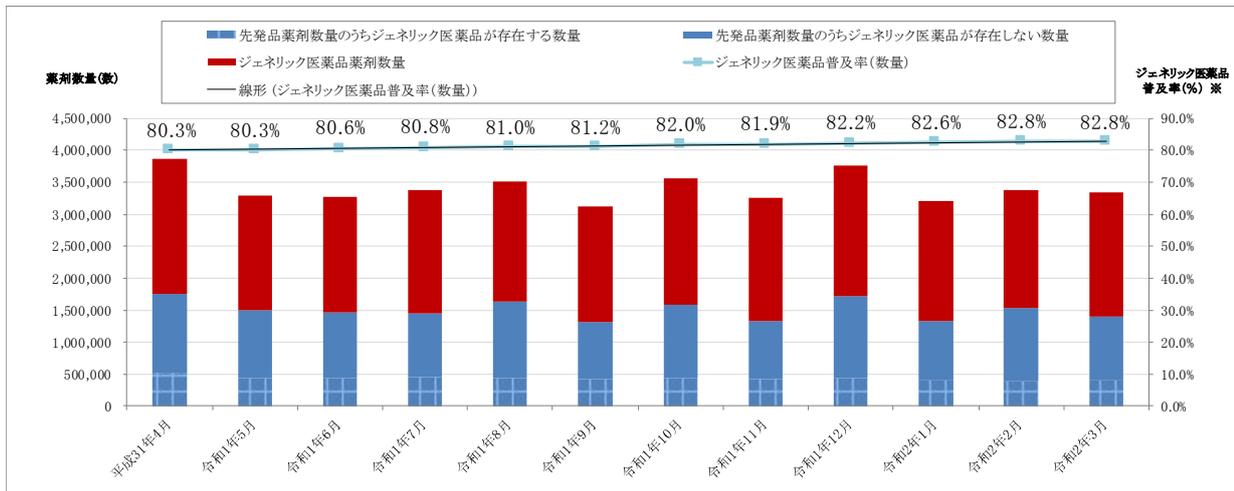
第4章 ジェネリック医薬品に係る統計と対策

ジェネリック医薬品普及率

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

以下の通り、診療年月毎の先発品薬剤数量、ジェネリック医薬品薬剤数量、全体の薬剤数量に対するジェネリック医薬品薬剤数の割合を示す。平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)は81.5%である。

ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



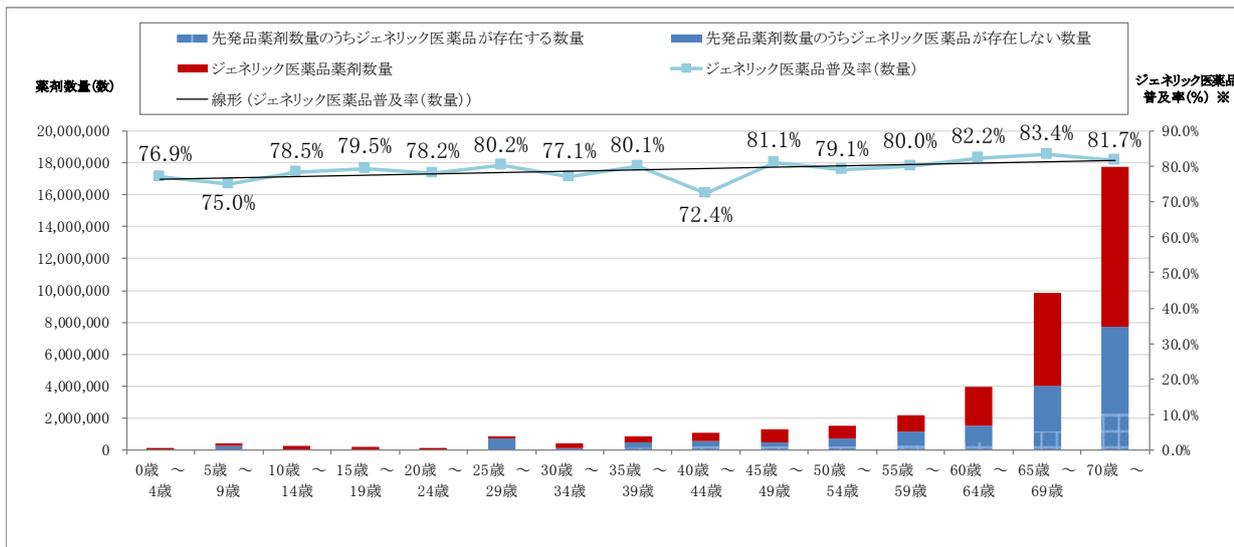
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

ジェネリック医薬品年齢階層別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

第5章 ロコモティブシンドロームに係る統計と対策

ロコモティブシンドローム対策事業

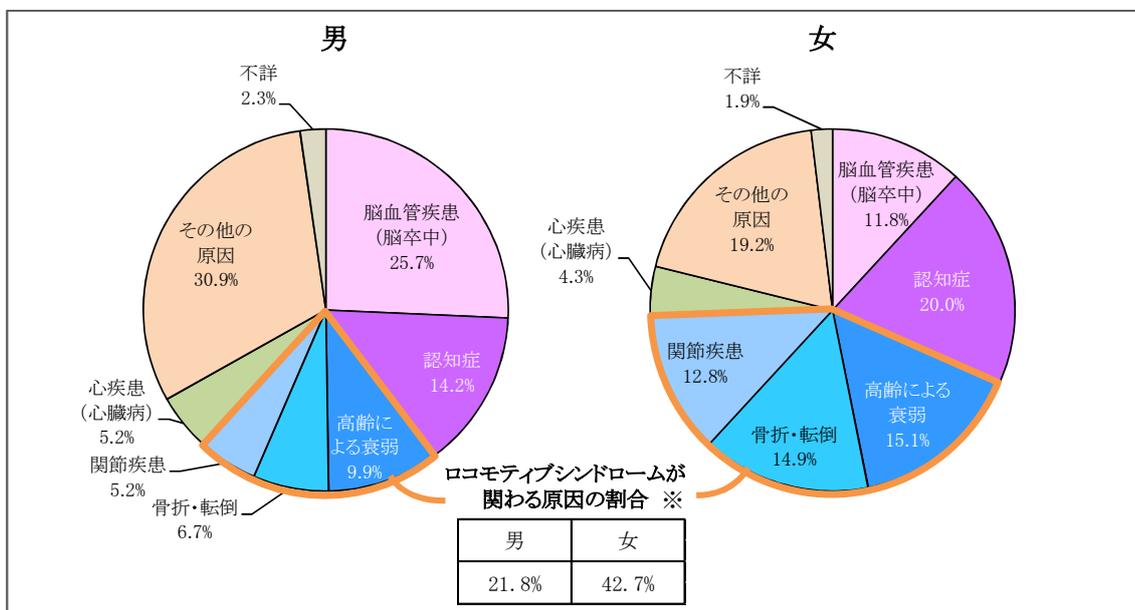
ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、筋肉・骨・関節・軟骨・椎間板といった運動器の障害により、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態、または、そうなるリスクが高い状態をいう。和名は「運動器症候群」である。自立度が低下し、要介護状態となる危険性が高い。

増え続ける要介護人口の歯止めとして、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。

ここでは、「ロコモティブシンドロームの現状」として、全国における「介護が必要となった主な原因とロコモティブシンドロームの関係」を示し、続けて「ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態」、「適切な指導実施方法の確立」、「成果の確認方法」について明確にする。

(1) ロコモティブシンドロームの現状

[全国] 性別にみた介護が必要となった主な原因の構成



出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年

※「高年齢による衰弱」は、ロコモティブシンドローム原因疾患であるサルコペニアが原因のひとつであり、運動器障害との関連があることからロコモティブシンドロームが関わる原因に加えている。

[全国] 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因(上位3位)

要介護度	第1位		第2位		第3位	
総数	認知症	18.0	脳血管疾患(脳卒中)	16.6	高年齢による衰弱	13.3
要支援者	関節疾患	17.2	高年齢による衰弱	16.2	骨折・転倒	15.2
要支援1	関節疾患	20.0	高年齢による衰弱	18.4	脳血管疾患(脳卒中)	11.5
要支援2	骨折・転倒	18.4	関節疾患	14.7	脳血管疾患(脳卒中)	14.6
要介護者	認知症	24.8	脳血管疾患(脳卒中)	18.4	高年齢による衰弱	12.1
要介護1	認知症	24.8	高年齢による衰弱	13.6	脳血管疾患(脳卒中)	11.9
要介護2	認知症	22.8	脳血管疾患(脳卒中)	17.9	高年齢による衰弱	13.3
要介護3	認知症	30.3	脳血管疾患(脳卒中)	19.8	高年齢による衰弱	12.8
要介護4	認知症	25.4	脳血管疾患(脳卒中)	23.1	骨折・転倒	12.0
要介護5	脳血管疾患(脳卒中)	30.8	認知症	20.4	骨折・転倒	10.2

出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年

(2) ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態

磐田市国民健康保険におけるロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数を示す。40歳以上の男女が対象者である。

条件設定による指導対象者の特定(ロコモティブシンドローム)

I.条件設定による指導対象者の特定	
原因疾患のレセプトが存在し、候補者となった患者数	7,129人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

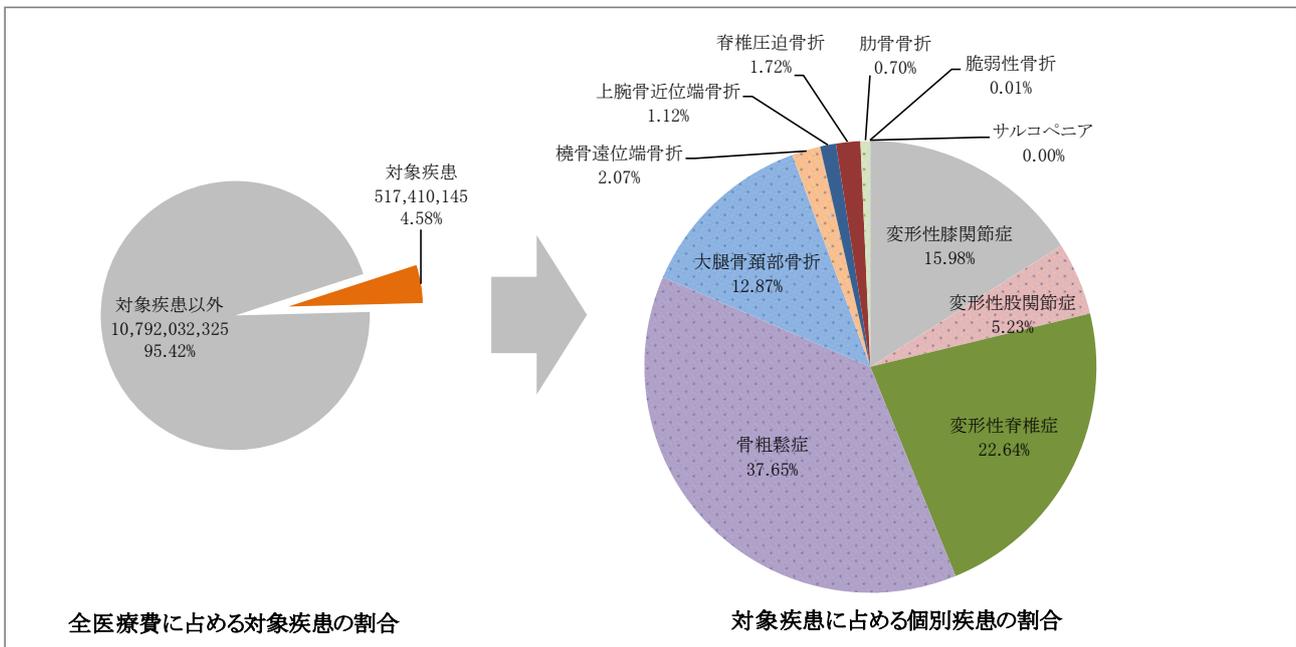
※ロコモティブシンドローム原因疾患は「ロコモティブシンドローム診療ガイド2010(日本整形外科学会 編)」に基づき、株式会社データホライズンにて以下関連疾病を選定。

※原因疾患…変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性脊椎症(頸椎症、腰部脊柱管狭窄症)、骨粗鬆症、骨折(大腿部頸部(近位部)骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、脊椎(圧迫)骨折、肋骨骨折、脆弱性骨折)、サルコペニア

※サルコペニア…筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費をグラフにて示す。医療費総計の約4.58%をロコモティブシンドローム原因疾患が占め、中には要支援及び要介護の主な原因である「関節疾患」「骨折・転倒」に関連する疾病が多く含まれる。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況



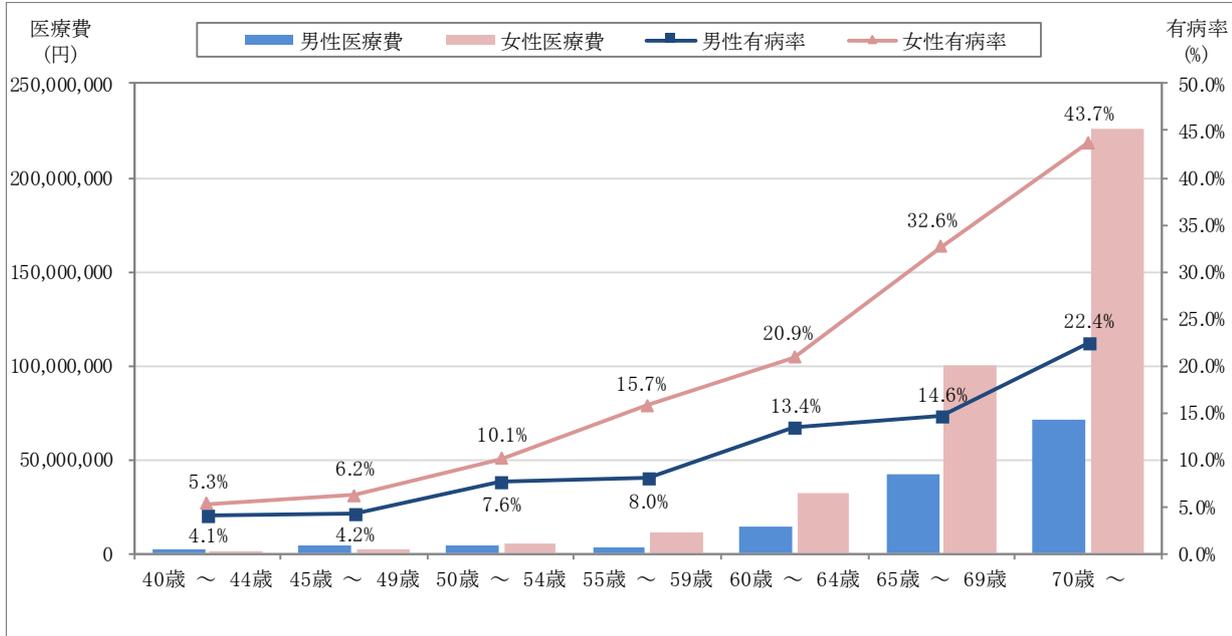
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別・男女別のロコモティブシンドローム原因疾患有病率と原因疾患医療費を以下に示す。加齢が進むにつれて患者数が増え医療費が急速に増大する傾向にある。

年齢階層別・男女別 ロコモティブシンドローム原因疾患 有病率と医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

(3) 適切な指導実施方法の確立

データ分析会社への業者委託を前提とした実施例を、ひとつの方法として説明する。

指導実施方法のフローは以下の通りである。

保険者はレセプトデータ等をデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は受領したデータからロコモティブシンドローム対策事業に適切な対象者を特定する。保険者はこれら対象者に対し、本事業の案内及び運動機能測定会への参加を促す通知を行い、測定会を実施する。測定会参加者は自宅にて3カ月間、ロコモティブシンドローム対策の簡易な運動を実施する。運動期間終了後、保険者は終了測定会を実施し、その結果を分析会社に提出する。データ分析会社はこれらのデータとレセプトデータ等を使用し分析を行い、分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

成果の確認方法については、測定会の参加者数より測定会参加率を算出する。また、自宅での運動実施者について、測定会における数値を基に運動機能改善率を算出する。さらに、レセプトを使用し、自宅での運動実施者と非実施者の翌年度における原因疾患医療費を確認する。